

# しも はら 下原遺跡

- 1 所在地 志布志市有明町伊崎田<sup>いさきだ</sup>
- 2 起因事業 主要地方道志布志福山線（有明志布志道路）道路改築事業
- 3 調査年度 平成 24 年度
- 4 主な時代 旧石器時代, 縄文時代, 弥生時代, 近世, 近代
- 5 遺跡の概要

下原遺跡は、大隅半島東部の菱田川と安楽川に挟まれた標高約 100m の尾根上に位置し、遺跡近くでは県道 63 号線沿いに杉並木が残されています。

昨年度の調査では、旧石器時代から近代までの遺構・遺物や、現在の県道に平行した近世と近代とみられる 2 条の道路跡が確認されています。近代の道路跡からは、<sup>ていつ</sup>蹄鉄が出土し、また、大正 3 (1914) 年の桜島大噴火の火山灰が約 10 cm 堆積した状況が確認されました。



近代の道跡（左）と近世の道跡（右）



道路に堆積した大正火山灰（100 年前の桜島の噴火）

